

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、  
生活のいろいろな場面で  
「健康寿命」をのばす運動を  
実践しています。

# よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

(平成8年5月20日第三種郵便物認可)

2005(平成17)年4月15日 第386号

(財)東京都予防医学協会  
(財)予防医学事業中央会東京都支部  
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402  
東京都新宿区市谷砂土原町1の2  
保健会館 電話03-3269-1131

http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)



## ● 今月の主な紙面 ●

- 1面 ヘルスケア研修会が200回記念の会  
平成16年度理事会・評議員会を開く・本会
- 2-3面(見開き)  
「産業医訪問」第64回  
連載「『いびき』よもやま話」第7回  
新連載「おことばですが...保健指導反省記」第1回  
健康づくり・健康増進を支援するページ 対策編 第1回
- 4面 学校心臓病検診打ち合わせ会開く・本会  
本会の個人情報保護方針  
ドクターミーティングを開催・本会  
長谷川壽彦前板木病院院長が検査研究センター長に就任・本会  
パリアム造影画像で最優秀技術賞を受賞・本会  
東京都予防医学協会年報2005年版 第34号ができました

# ヘルスケア研修会が200回記念の会

健康管理や健康支援をすすめるうえで課題や問題を取りあげて、その考え方や具体的解決の方策などを討議してきたヘルスケア研修会が第200回を迎え、さる3月30日に千代田区・永田町の星陵会館で記念の会を開いた。ヘルスケア研修会は、1968年6月に本会が主催して「成人病予防講演会」の名称で第1回をスタートし、その後が国で初めて「ヘルスケア(健康管理)」という用語を使った研究会に名称を変更するなどして、時代が求めている新しい健康対策のあり方を模索してきた。73年5月に健康管理コンサルタントセンター(岡惺治会長)が発足したのを機に、同センターが中心となって会の企画・運営をし、本会が事務局を引き受けるといった形で今日まで継続して開催されてきた。会の名称も、74年9月に開かれた第17回から今日の「ヘルスケア研修会」となった。第1回から200回までに、この会に参加した職域や地域の健康管理関係者はのべ3万人近くにのぼっている。

## 「生と性の華麗なる調和 ホルモンと健康管理」を記念講演



記念講演を行った  
川田純徳島大学名誉教授

記念の会での講演に先立ち、岡惺治健康管理コンサルタントセンター会長は、「多くの方のご協力によってヘルスケア研修会を200回まで積み重ねることができた」と謝意を述べたうえで、次のように語った。

「私たちは、日々山積する仕事を前にして、ノウハウだけを追いかける傾向に陥りがちである。こうした研修会の企画にしても、改めて問題を考

え直すとか、大所高所から見直すというふうな機会をなかなか持てずにいる。そこで、せめてこうした節目のときに、健康と称する私たちの健康管理と称する私たちの仕事は、対象が個人的であれ集团的であれ、その対象への支援や援助などが主な仕事となる。そして、それには相手とどういった考え方をしているのかを何とか知ろうとする努力が必要となる。

しかし、人間は多様であって、相手の考え方に違つことが悩みの種となる。「相手が人間だから」といったことまでは考えついで、原点的に考えてみる。健康と称する私たちの仕事は、対象が個人的であれ集团的であれ、その対象への支援や援助などが主な仕事となる。そして、それには相手とどういった考え方をしているのかを何とか知ろうとする努力が必要となる。

授が、「生と性の華麗なる調和ホルモンと健康管理」と題して記念講演を行った。川田名誉教授は、まず「私たちは日頃、人間という日常性の中にすっかり埋没していることに気づかない状態で、近視眼的になりがちだ」と指摘し、「他人に対する共感や寛大な気持ち、ゆとりを持ちを取り戻すためにも、そうした日常性から脱却して人間とは何かを考えることが大事だ」と強調した。

そのうえで講演の前半は、一般代謝への影響も非常に大きい。そのためホルモン療法を考える際には、多岐にわたる副作用への配慮が必要である」と結んだ。

その後、会場を移して行われた交流会では、現場の健康管理担当者や健康管理コンサルタントセンターのメンバー、本会の関係スタッフ、事務局OBらが参加し、野田一雄健康管理コンサルタントセンター幹事長の進行で、なかなか交流が行われた(写真右)。



## 平成16年度理事会・評議員会を開く本会

東京都予防医学協会の平成16年度第2回理事会および第3回評議員会が3月29日、都内のホテルで開かれた。冒頭、あいさつに立った北川照男理事長は、平成16年度の事業をほぼ予定通り遂行できたことを報告して、関係者の理解と協力に謝意を表し、次のように述べた。

「今年度は、マンモグラフィを搭載した検診車による乳がん検診を開始するとともに、女性検診施設のグリーンルームを改装して、受診者増加への対応を行った。また、各種がん検診、学校保健、母子保健、職域保健、環境保健などの領域でも精度の高い検査・健診を行い、関係者から高い評価を受けている。いっぽう個人情報保護法への取り組み

としては、「個人情報管理規定」を策定し、安心して受診していただくような体制づくりの推進を図った。17年度も職員の英知を集結して、検査・健診の質を維持しつつ、この困難な時代を乗り越えたい。」

このあと、理事会は北川理事長を議長に、評議員会は国井沙評議員を議長に選出し、平成17年度の事業計画案と収支予算案の審議を行い、いずれも満場一致で承認された。

## 個人情報の取扱いについて

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。

これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと考えております。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話03-3269-1131)までご連絡ください。

## 健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

お問い合わせ・ご相談は 予約制)  
電話 東京(03)3269-1131

健康管理コンサルタントセンター  
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2  
(財)東京都予防医学協会

### コンサルテーションのごあんない

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| 5月 4日 祝日のため休み             | 6月 1日 三輪祐一 |
| 11日 岡 惺治(健康管理コンサルタント)     | 8日 岡 惺治    |
| 18日 三輪祐一(東京都予防医学協会総合健診部長) | 15日 三輪祐一   |
| 25日 第201回ヘルスケア研修会につき休み    | 22日 岡 惺治   |
|                           | 29日 三輪祐一   |







# 学校心臓病検診打ち合わせ会開く 本会

## 検診の円滑な実施をはかる

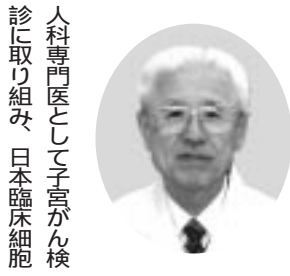
打ち合わせ会では、始めに影結果について、1次検診の平成16年度の心電図の読 抽出内訳や2次検診・精密検査結果が、過去の2年間の結果とほぼ同様の成績であったことが報告された。そのうえで、2次検診や精密検査の対象とな



りながら、それらを受診していない「未検者」の問題について、繰り返し受診勧奨を続けることの重要性が、また今回の打ち合わせ会では、個人情報保護法をふまえた検診実施や結果通知のあり方などについても、さまざまな意見が交わされた。平成17年度の心臓病検診は、この打ち合わせ会で確認されたことに基づいて実施することになった。なお、打ち合わせ会に参加した専門医は

次の各氏である(順不同、敬称略)。  
原田研介(日本大学教授)、  
鮎澤衛(同大学講師)、浅井利夫(東京女子医科大学教授)、  
伊藤けい子(同大学講師)、  
土井庄三郎(東京医科大学)、  
科大講師、  
上砂光裕(日本医科大学)、  
村上保夫(袖原記念病院院長)、  
大塚正弘(都立墨東病院部長)、  
石井正浩(北里大学教授)、  
佐地勉(東邦大学教授)、  
山岸敬幸(慶應大学講師)、  
伊東三吾(都立広尾病院部長)、  
鈴木淳子(東京通信病院)、  
大久保又一(順天堂大学講師)、  
弓倉整(板橋区医師会理事)、  
渡辺直幸(杏林大学)

### 長谷川壽彦 前栃木病院院長 が検査研究 センター長に 就任—本会



学会会長を務めたほか、日本細胞診断学推進協会副理事長、細胞診断専門医・指導医会長を務めている方である。また、本会と東京産婦人科医学会との共同事業である子宮がん検診にも草創期から関わってきた。  
就任に際して長谷川センター長は、「検診全般が曲がり角の時代にさしかかり、コストの面や、受診者への啓発なども含めて、よりよい検診のあり方が模索されています。単なる「検査」ということではなく、受診する方々の健康づくりに役立てていただけるような検査・検診を目指し、より精密で確実な検査を実施できるように取り組んでいきたいと考えています」と語っている。

### ドクターミーティングを開催 本会

本会では、健康診断に携わる医師と関係スタッフが一堂に会するドクターミーティングを開催し、現場で起こる問題を話し合い、共通理解を深めるとともに、健康診断を担う医師を中心

精度の向上をはかっている。さる3月19日、保健会館別館で行われたミーティングには、職域や地域の健康を担う医師を中心

### 本会の個人情報保護方針

財団法人 東京都予防医学協会  
理事長 北川 照 男

財団法人東京都予防医学協会は、お客様個人に関する情報(以下「個人情報」)を正確かつ安全に取扱うことを社会的責任と捉え、平成16年9月6日に行動指針として「検査・健診における個人情報管理規定」を策定し、全職員に対してこの規定を遵守する証として誓約書の提出を求めました。

さらに今後も、皆さまの安心と信頼に応えるために、精度管理と併せて個人情報保護対策についても継続的に見直しつつ実施していくことが重要と考え、この責任を果たしていくための基本方針を以下の通り定めました。

- 1 個人情報に関する法令の遵守**  
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守することを徹底するとともに、機会あるごとに職員の教育を実施する等、今後とも個人情報の保護・管理の徹底に取り組みます。
- 2 個人情報の収集・利用・提供**  
個人情報の適切な収集、利用、提供等に関する内部規定を定め、これを遵守いたします。具体的には、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン(平成16年12月24日 厚生労働省)」等に則して内部規定を策定し、本会のインターネット・ホームページにその内容を掲載し公表いたします。
- 3 個人情報の安全対策**  
個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩などが発生しないよう管理・廃棄のルールを徹底し、個人情報の安全性の確保に努めます。万一、問題が発生した場合は、速やかに公表するとともに適切な正対策を実施いたします。
- 4 個人情報管理体制の継続的改善**  
個人情報の保護・管理を適切に維持するため、内部規定の整備を含めた内部管理体制を確立するとともに、継続的にその見直し改善を図ります。

本件につきましてのお問い合わせは、下記の担当者までお願いいたします。

財団法人 東京都予防医学協会  
個人情報管理責任者 山元健治  
電話 03 3269 1131

\*「個人情報保護方針」、「各種の検査・健康診断における個人情報の利用目的についてのお知らせ」、「診療における本会クリニック個人情報の利用目的のお知らせ」は、本会のホームページに掲載しております。

### 東京都予防医学協会年報 2005年版 第34号(平成15年度活動報告)ができました

各分野の執筆者とテーマは下記のとおりです(敬称略)

塚崎克己(慶應義塾大学助教授)「東母精密検診(2次検診)センターの活動状況(第30報・2003年度)」伊藤良彌(東京慈恵会医科大学助教授)東京産婦人科医学会との協力による乳房検診「東母乳房検診の実施成績」武智昭和(本会検査研究センター)妊婦甲状腺機能検査「妊婦甲状腺機能検査の実施成績」百深尚子(本会内分泌科)性感染症検査「東京都におけるクラミジア、淋菌の検査成績について」松田静治(性の健康医学財団副理事長)新生児スクリーニング検査「新生児の先天性代謝異常症のスクリーニング成績(第26報)」鈴木健(本会検査研究センター)「先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)の新生児スクリーニング成績」杉原茂孝(東京女子医科大学教授)「先天性副腎過形成症のマス・スクリーニング成績」/「東京都で発見され東京医科大学で診断・治療を受けている先天性副腎過形成症患児の臨床経過」豊浦多喜雄(東京医科大学歯科大学講師)神経芽細胞腫検査「神経芽(細胞)腫の乳児マス・スクリーニング」越永従道(日本大学助教授)

【がん検診】  
胃がん検診「胃がん検診の実施成績」本会放射線部「胃がん検診の精度向上を目指して」馬場保昌(早期胃癌検診協会会長)  
肺がん検診「FDG PETによる肺がん検診の可能性」金子昌弘(国立がんセンター中央病院医長)「東京から肺がんをなくす会の活動状況」東京から肺がんをなくす会事務局  
大腸がん検診「大腸がん検診(便潜血反応検査)の実施状況と課題」本会検査研究センター  
子宮がん検診「子宮がん検診の実施成績」武智昭和(本会検査研究センター)  
乳がん検診「マンモグラフィによる乳がん検診について-新システム導入の背景と都市部における今後の課題」福田護(聖マリアンナ医科大学教授)「乳がん検診の実施成績」本会放射線部・企画管理課

【生活環境検査】  
生活環境検査「生活環境検査の実施状況」市瀬正之・世良保美(本会検査研究センター)

【VI 研究・健康教育活動】  
学会、研究会での研究発表 / 健康教育活動 / 2003年度の本会の概要

- バリウム造影画像で最優秀技術賞を受賞 本会
- 精度の高い胃がん検診を実施するために、まず質の高いX線画像を撮影することが重要である。このため本会では、診療放射線技師の技術向上に力を入れてきた。
- 先ごろ日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会の主催で開催された第26回消化器造影技術研修会には、全国の施設から診療放射線技師が参加し、研修を受けた。その研修会で本会の撮影技術が高く評価され、最優秀技術賞を受賞した。本会の最優秀技術賞受賞は、今回で4度目である。
- 【学校保健】  
心臓病検診「心臓病検診の実施成績」浅井利夫(東京女子医科大学教授)腎臓病検診「腎臓病検診の実施成績と分析」村上睦美(日本医科大学名誉教授)糖尿病検診「小児糖尿病検診の実施成績と分析」浦上達彦(日本大学講師)「緩徐発症型小児1型糖尿病-学童糖尿病検診のうち1つの成果」大和田操(女子栄養大学大学院教授)脊柱側弯症検診「脊柱側弯症検診の実施成績と側弯症学校検診の今後の課題」磯辺啓二郎(千葉大学教授)小児生活習慣病予防健診「小児生活習慣病予防健診の実施成績」浦清(本会地域保健部)貧血検査「貧血検査の実施成績と分析」前田美穂(日本医科大学助教授)寄生虫検査「寄生虫検査(学校保健分野)の実施成績」本会検査研究センター・地域保健部
- 【地域・職域保健】  
定期健康診断・基本健康診査「定期健康診断の有所見率の推移」/「地域・職域診断サービス-職域の健康対策における活用」須賀万智(聖マリアンナ医科大学)「住民健診への協力」本会統計事務部  
特殊健康診断「特殊健康診断の実施状況」三輪祐一(本会総合健診部)保健指導事業「保健指導の実施概要」菅野智子(本会健康増進部)人間ドック「人間ドックの活動」小野良樹(本会保健会館クリニック)超音波検査「超音波検査の実施成績」大平清(本会検査研究センター)クリニックの外来診療「クリニック部門の活動」小野良樹(本会保健会館クリニック)
- 【母子保健】  
東京産婦人科医学会との協力による子宮がん細胞診「子宮がん細胞診(頸がん・体がん)の実施成績とその分析」

この「年報」をご希望の方は、東京都予防医学協会広報室までお問い合わせください(電話03 3269 1131)